

追 跡 調 査 表

様式 作成例

技 術 名 称 : ○○工法

登 録 番 号 : ○○D●●●●●

開 発 企 業 : 株式会社○○

施 工 地 : ○○市○○地内

施設管理者 : ○○地域振興局地域整備部

様式 8 - 1

新技術の概要	○○について○○を可能にした新工法	比較した従来技術	△△工法		
新技術活用数量	L=100m	調査年月	△△○○年○月	施工年月	△△○○年○月
調査項目	追 跡 調 査 結 果				
	申請者	施設管理者		事務局（案）	
（１）経済性 （ランニングコスト）	△△工法はメンテナンス費用が10万円/年程度必要とされているが、本工法は約3万円/年であった。				
（２）品質 （期待される効果等）	別紙写真(様式8-2)のとおり、△△工法と同様の□□効果が発揮されていた。				
（３）安全性	△△工法では施工時の□□が必要だが、本工法では不要なため、△△工法に比べ安全性は優位であった。	（申請者） ・ 現地調査結果を基に記入すること ・ 可能な限り、従来技術と比較すること （施設管理者） ・ 申請者の意見、維持管理状況等を基に記入すること			
（４）維持管理性	□□の維持管理が容易であり、△△工法に比べ維持管理性は優位であった。				
（５）環境	施工時に排出される□□は○○であり、△△工法と同等である。				
（６）その他					
○追跡調査結果（別紙「追跡調査報告書」（任意様式）参照）					

状況写真（1）

状況写真（2）

（申請者が作成）

- ・ 現地調査時の写真を添付すること
- ・ 可能な限り、様式8-1の調査項目が確認できる写真を添付すること

状況写真（3）

状況写真（4）